

ワークショップ 12

「十二指腸・大腸腫瘍に対する内視鏡治療の最前線 -cold snare polypectomy から underwater EMR、ESD まで-」

司会 浦岡 俊夫（群馬大学大学院医学系研究科消化器・肝臓内科学）
竹内 洋司（大阪国際がんセンター消化管内科）

十二指腸と大腸は上部と下部で専門とする医師が異なることも多いが、臓器的、疾患的な特徴や、その治療法の有効性や欠点についても共通点が多い。この二つの臓器における内視鏡治療の最前線を、一堂に会して提示していただき情報を共有できることは、非常に有意義となるであろう。

古典的な治療法も含めて現時点での各治療法の到達点を幅広く供覧していただき、今後の方向性についても議論できるようなセッションとしたい。